

“市民による市民のための映像祭”「東京ビデオフェスティバル2024」

入賞作品として「TVF2024 アワード」(34 作品) を決定

- 応募総数は98作品 — 15歳の中学生から94歳のシニアまで幅広い世代が応募 —
- 入賞は10～20代の若い世代から14作品、60代以上のシニア世代から17作品
- 社会問題を現代・歴史視点から捉える作品、地域コミュニティや自分を見つめる作品が入賞
- 入賞者・ビデオファンが集う「TVF2024 フォーラム」を3/30(土)にリアルイベントで開催
～「ビデオ大賞」(1作品)を審査委員が決定・発表する「公開審査会」も開催～

特定非営利活動(NPO)法人「市民がつくるTVF」(代表理事:小林はくどう)が主催する、今年で15回目を迎えた“市民による市民のための映像祭”「東京ビデオフェスティバル2024」(TVF2024)には、98作品(国内:96作品/海外:2作品)が寄せられ、このたび、入賞作品となる「TVF2024 アワード」として34作品を決定しました。入賞34作品は、今回を象徴する作品に贈られる「ビデオ大賞」(1作品)へのノミネート作品となります。「ビデオ大賞」は審査委員による「公開審査会」(後述)にて決定・発表します。

入賞者とビデオファンが集う、TVF恒例の一大イベント「TVF2024 フォーラム」は、来る2024年3月30日(土)開催(会場:武蔵大学 江古田キャンパス(東京都練馬区) *一般開放。入場無料)。4年ぶりにリアルイベントでの開催となります。

「TVF2024 フォーラム」では、2つの特別企画として、最初に「映像制作を实践する学生たちは何を伝えたいのか?」と題して入賞した学生たちや指導者に登壇していただき、質疑応答を行います。次に、「津野敬子さんとDCTV/50年の取り組みと現在」と題して、審査委員である津野敬子氏の挨拶と、米国を中心としたDCTVのこれまでの活動を審査委員の佐藤博昭氏から紹介していただきます。また、「TVF2024 アワード」の入賞者を表彰し、同アワードに選ばれた34作品を題材に、入賞者と来場者を交えた会場全体での映像制作について語り合う「セッション」や、「特別賞」(2賞)として、「TVFジャーナリズム賞」は発表・表彰と専任審査委員による講評を、「市民賞」は発表・表彰を行います。そしてフィナーレには、審査委員が「ビデオ大賞」をライブで審査・決定・発表する「公開審査会」を実施します。

■「TVF2024 フォーラム」の概要(予定)

- [日時] 2024年3月30日(土) 10:30～17:45
- [内容] 特別企画、「TVF2024 アワード」表彰と入賞者とのトーク、「特別賞」の発表・表彰、
「ビデオ大賞」の公開審査会と発表・上映、表彰
- [会場] 武蔵大学 江古田キャンパス(住所:東京都練馬区豊玉上1-26-1)
- [参加費] 無料 ※交流会は有料。

■「ビデオ大賞」「特別賞」の決定・発表

- ・「ビデオ大賞」の決定・発表:「TVF2024 フォーラム」の審査委員による「公開審査会」にて。
- ・「特別賞」(TVFジャーナリズム賞、市民賞)の発表:「TVF2024 フォーラム」にて。

「東京ビデオフェスティバル 2024」応募作品・応募者の概要

1. 応募総数

- ・応募総数：98 作品（国内：96 作品／海外：2 作品）。
- ＊前回：103 作品（国内：102 作品／海外：1 作品）。

2. 応募世代

15 歳の中学生から 94 歳のシニアまで、幅広い世代が応募。

3. 世代別傾向

- ・中学生、高校生、大学生を中心とする 20 代までの若い世代から 53 作品（全体の約 54%）。
- ・30～50 代のミドルエイジから 13 作品（同約 13%）。
- ・60 代以上のシニア世代から 32 作品（同約 33%）。

4. ジャンル別傾向

- ・ドキュメンタリーが最も多く 70 作品が寄せられ、全体の約 72%。
- ・その他、ドラマ 15 作品（同約 15%）、CG／アニメーション／アート 13 作品（同約 13%）。

「東京ビデオフェスティバル 2024」入賞作品・入賞者の傾向

1. 10～20 代の若い世代から 14 作品が入賞、60 代以上のシニア世代から 17 作品が入賞

今回は、10～20 代の若い世代から 14 作品。また、60 代以上のシニア世代から 17 作品が入賞しており、若い世代とシニア世代の入賞が顕著。30～50 代のミドルエイジの入賞は 3 作品となりました。

2. まさに“ドキュメンタリーの TVF”、ドキュメンタリーから 28 作品が入賞

今回も、応募作品全体の約 72%をドキュメンタリーが占め、まさに“ドキュメンタリーの TVF”として 28 作品が入賞。他は、アート 3 作品、ドラマ 2 作品、アニメーション 1 作品が入賞しています。

3. 多彩なテーマ／視点の入賞作品群

1) 地域や社会の問題を、過去の歴史、あるいは現代の視点から取り上げた入賞作品（13 作品）

ウクライナ、パレスチナで戦争が起きている今日、沖縄の基地問題、元特攻隊員の証言記録などを作者の目線で伝える作品やロシア旅行体験からの戦争への思惑、ヒロシマ原爆のアニメーション、戦争を自分事として考えようとする高校生の作品まで、幅広い年齢層の作者による、戦争や平和について考えた作品が入賞しています。また、現代のテーマとして、都市の高度成長が抱えた課題、貧困やフードロス、同性カップルの家族像、女性を悩ます生理、外国人技能実習を取り上げた作品や、高校生が、身近なテーマとして、片付けについて考える作品が入賞しています。

2) 地域やコミュニティをテーマに取り上げた入賞作品（9 作品）

魅力ある街づくりに励む市民の想いを伝える作品や地域 TV メディアのあり方や地方の町おこしを考える作品。屋台を通じたコミュニティや、身近な墓地の将来について考えた作品。海苔養殖事業に取り組む夫婦や地域の神楽の伝統を受け継ぐ若者たちの姿など地域コミュニティでのテーマを取り上げた作品が入賞しています。また、地域の神社の歴史を映像化した作品や自然や素敵な風景を紹介した映像美あふれる作品が入賞しています。

3) 自分を見つめた入賞作品（8 作品）

父や祖母の撮影を通じて自分自身や家族について見つめる作品や、好きな店や恩師への自分の想いを表現した作品から、“自分”の気持ちをテーマにしながら、ドラマ仕立てや巧みな表現方法にチャレンジした作品が入賞しています。

4) 創作表現の入賞作品 (4 作品)

今回はドラマやアートなど創作表現に優れた作品が入賞しています。アートパフォーマンスの映像作品、社会の不条理に悩む若者の気持ちをロードムービーで表現した作品、電線をモチーフにしたアート作品や 1945 年 8 月 6 日のトマトの話をドキュメンタリー・アートで表現した作品があります。

■「TVF2024 フォーラム」プログラム (予定)

●2024 年 3 月 30 日(日)／10:30～17:45 (10:00 受付開始) *交流会 (18:00～19:30)

〈進行〉

- ・10:30～ 開会宣言、主催挨拶
- ・10:40～ 特別企画「映像制作を实践する学生たちは何を伝えたいのか？」
- ・12:00～ 休憩
- ・13:00～ 「TVF2024 アワード」の表彰、討論
 - セッション 1 (テーマ:「地域・社会 (歴史)」／6 作品)
 - セッション 2 (テーマ:「地域・社会 (現代)」／7 作品)
 - セッション 3 (テーマ:「地域コミュニティ」／9 作品)
 - セッション 4 (テーマ:「自分を見つめる」／8 作品)
 - セッション 5 (テーマ:「創作・表現」／4 作品)
- ・15:00～ 特別企画「津野敬子さんと DCTV／50 年の取り組みと現在」
- ・15:30～ 「市民賞」「TVF ジャーナリズム賞」の発表・表彰
「TVF ジャーナリズム賞」の専任審査委員による講評
- ・16:00～ 公開審査会
- ・17:10～ 「ビデオ大賞」決定・上映、表彰
- ・17:45～ 記念撮影、閉会宣言

- ・18:00～ 交流会 (19:30 終了予定)

■入賞作品の公開 (Web 配信)

- ・当法人ホームページにて入賞した 34 作品を公開中 (Web 配信)
- ※今回の応募作品も合わせて公開しています (一部非公開あり)。

- ・「東京ビデオフェスティバル」公式ホームページ (NPO ホームページ) URL

URL <https://tvf2010.org/>

■「東京ビデオフェスティバル」審査委員 (五十音順・敬称略)

小林 はくどう (ビデオ作家・成安造形大学 名誉教授)

佐藤 博昭 (ビデオ作家・武蔵大学 講師)

津野 敬子 (ビデオ作家・DCTV 共同代表)

村山 匡一郎 (映画評論家)

(アドバイザー)

椎名 誠 (作家)

羽仁 進 (映画監督)

■「TVF ジャーナリズム賞」専任審査委員（敬称略）

- 神保 哲生 （ビデオジャーナリスト）
- 筑紫 ゆうな（切り絵作家・旧「筑紫哲也賞」常任選考員）
- 長野 智子 （キャスター）
- 下村 健一 （市民メディア アドバイザー・白鷗大学 特任教授）

■各賞の選出について

- ・「ビデオ大賞」
「TVF2024 アワード」の中から今回を象徴する作品として選出されます。
- ・「TVF2024 アワード」
「入賞」に位置づけられる作品。全応募作品から選出されます。
- ・「TVF ジャーナリズム賞」
特別賞。「TVF2024 アワード」受賞作品の中から、同賞の専任審査委員により、ジャーナリスティックな視点に特に優れた報道系作品を選出します。
- ・「市民賞」
特別賞。全応募作品の中から NPO サポーター会員、および「TVF2024」の作品応募者の審査投票により選出されます。

<NPO 法人 市民がつくる TVF について>

NPO 法人 市民がつくる TVF は、31 年間の歴史を持つ国際的な映像祭「東京ビデオフェスティバル (TVF)」(日本ビクター主催・2009 年 3 月閉幕)の精神を継承し、市民有志が集まって結成した団体です(設立:2009 年 11 月)。ビデオ作品の制作や発表機会を通じて、映像によるコミュニケーションの活性化を図る活動を行っています。

<東京ビデオフェスティバルとは>

「東京ビデオフェスティバル」は、ビデオメッセージの伝達と表現力の向上を目的に 1978 年以来、通算 46 回継続開催となる映像祭です。当 NPO の主催となって今年で 15 回目を迎えます。

本件に関する報道関係窓口

特定非営利活動法人 市民がつくる TVF 事務局 問い合わせ窓口

E-mail : npotvinfo@gmail.com

TEL : 070-4150-2167

FAX : 042-670-7085

* 記事中の読者様の問い合わせ先も上記でお願いいたします。

<「TVF2024 アワード」(34 作品) 一覧>

NO	作品名	作者名	年齢	作品時間	国/都道府県
1	ふる里の想いをのせて 110 余年 「ありがとう留萌本線」	有沢 準一	86	19:26	北海道
2	熱血チャリンコ先生・岡忠ヒストリー	堀 浩	63	19:59	栃木県
3	秘境! 登らずの絶景 大岩西公園の今	衛府自衛 (えふじえい)	60	12:03	栃木県
4	電子和ろうそく開発物語	荒木 勉	68	6:23	埼玉県
5	FATHER and SON	木下 一心 (東京造形大学)	19	12:27	埼玉県
6	茅の輪くぐりて	住田 勝	80	15:48	埼玉県
7	百日紅 100 歳のひいおばあちゃん	庭野 心花 (埼玉県立芸術総合高等学校)	17	4:07	埼玉県
8	Days in uncertainty -不確かな日々-	相内 啓司	74	11:10	東京都
9	夏とビールと?	小川 旭	76	10:30	東京都
10	にほんではたらくぼくら	森山 琴葉 (上智大学)	20	17:30	東京都
11	ぬいぐるみと生きる	森 萌乃香 (東京大学大学院)	24	20:00	東京都
12	町の記録係 ～半世紀の記憶と共に～	銭 晟揚 (上智大学)	21	15:04	東京都
13	無人駅	紙村 真生 (早稲田大学)	20	19:52	東京都
14	元日本軍特攻隊員 4 人の遺言	鈴木 賢士	91	19:00	東京都
15	忘れてはいけない記憶 ～西東京にもあった戦争・アニメ原爆の記～	西東京シネマ倶楽部	—	20:00	東京都
16	私の好きな店	津田 修一	57	20:00	東京都
17	わったーしんかー ～わたしはうちなんちゅ～	高崎 慧 (上智大学)	21	14:48	東京都
18	生理ガチャ	小寺ゼミ 映像チーム (東洋英和女学院大学)	—	8:55	神奈川県

NO	作品名	作者名	年齢	作品時間	国/都道府県
19	D-Na	ARTLiVE (神奈川県立相模原弥栄高等学校)	—	9:15	神奈川県
20	ドキュメント石垣島 2023年3月陸自ミサイル基地開設の瞬間	湯本 雅典	68	20:00	神奈川県
21	貧困とフードロスに挑む	土門 拓海・福岡 颯・福本 里桜 (専修大学)	21	18:30	神奈川県
22	未来の子ども部屋 ～多様な性が紡ぐ家族のかたち～	会津 万葉子・鈴木 倫子 (慶應義塾大学)	21 19	19:53	神奈川県
23	歌川広重 田毎の月の謎	山岸 哲	84	11:44	長野県
24	いま、戦争を考える	同朋高等学校 放送部	—	12:32	愛知県
25	お片付け革命	桜丘高等学校 放送部 テレビドキュメント班	—	8:16	三重県
26	RE ハトが泣いている	K. Sakakibara	67	3:50	三重県
27	電線に、誘われて。	金谷 功	81	5:03	京都府
28	2023 この年 苦勞の末に…	合原 一夫	90	17:20	大阪府
29	神楽とともに生きる ～次世代が継ぐ伝統の舞～	広島経済大学山田哲敬ゼミナール 文野 満月・三宅 晴子	20 21	19:44	広島県
30	安らぎの地を護りたい	加藤 道明	66	15:00	広島県
31	ひなもん ～阿知須に生まれた文化～	高崎 鈴枝	75	15:29	山口県
32	長浜屋台街の復活	永田 隆二	74	11:59	福岡県
33	人生車站	羅 亞藍	34	8:03	中国
34	Tomatoes	国本 隆史	43	2:10	ドイツ

注)・作者名敬称略。国内・海外の順で記載。また国内は北から都道府県順で記載。同じ国/都道府県は作品名の五十音順で記載。